各道府縣製産品の

宣傳に

りと断ずるものである、然る を達すること困難否不可能な を達すること困難否不可能な

に係るものとすれば、日補貿所間消費組合式なれば輪外で

久末吉次氏談

本を足 諸掛を負擔し一種の不常廉質 ず迄もないと信ずるのである と信ずるのである 関連を関いている はいと信ずるのである と信ずるのである と信ずるのである と信ずるのである と信ずるのであって の連絡を採らず却つて商店に し得るものと信ず、前者即ちの説 なく縣産品の其の後の販費に 迷惑を及ぼすが如き行動を採 即賣宣傳會は線香花火的宣傳の説 を明 をして取扱ふに躊躇せしむる 張を個らんとするは、木に據 從つて日満貿易の發展に力強を として取扱ふに躊躇せしむる 張を個らんとするは、木に據 從つて日満貿易の發展に力強 に至るものである萬一生産者 りて魚を求むるの類である、 き作用を爲するのと確信する まり消費者へ直接販賣を行ふ 「無の宣傳期賣會を行ふに適當」ものである

一事期も終末

建設材料の輸送減少

新京鐵路局管內荷動狀况

人口増加統計 八口見ると左の如くである 4 九二八年 満人

電話四七九〇省

京脇寫眞館へ 藤僧り

局 散話五九二三番

屋

多

あんま

キウ

ビン市

從來豐富な資源があると傳 で多大の期待を懸けてゐる で多大の期待を懸けてゐる

は、松の木の脇から、 をれを、馬がれたものの際に、 合子を、別群へ連れて歸ると、 を背壁のであた。彼は、工廠と 合子を、別群へ連れて歸ると、 を背壁に常嫌へて、

**大森醫** 

の結果に依つてははつきりを行つた事がないので調査

治療性が、健か疑さ、既は解 帝の謎を投げ、或は眉をひそめ 等のこ人の奇異な形合せを、

を拾って、運輸器の機にわざと

日時

舊軍閥逆產品=青貝

用 品=床置物、花器、花台、印材、硯、緞通、書畫

入高級唐木家具、其

月自廿六日四日間午后九時マデ

學吟子作

なのち、那里子へ手を貸して、

待つてるたクラ イスラーがゆる

主

青井表具店美術部

電話三四六四番

あんま

東二條通り橋南渡る左東二條通り機南渡る左東二條通り橋南渡る左東二條通り橋南渡る左東二條通り橋南渡る左東二條通り

祝

町

於

太

金月融掛

(土井)

析尾新聞館 朝日新聞

を車の中へかくすと、車は、 那里子の後からグリンが、 でない、からがリンが、 海道を東へ疾駆し始めた。 ※編々と、脱箔を鳴らし写ら

謝

比し一八〇三キロ減少して居ける荷動駅況は木材は前旬に於

ツ日満 一合 一合 平勝人 一合 一条 勝人 人 三年 及外 年 及外

のもおれて、おつと脚を開かる時間との、脚きを使う、グリンの選しい時間とある。 が、栗色に色付いて、脚力の木 が、栗色に色付いて、脚力の木 のもおれて、おつと脚を開かる。 らじく (と流れ出る汗を拭ふけいの際の際に繋して。 無いは離かけ に見詰めてゐた。 を聴した。さらない。 けるんだり 「おい、たの 無神經な表情を崩 自動なのでをおい、後に こへて、ハンドル あの明をつ

は、その一波である、通貨の部面、その一波である、通貨のである、通貨のではある。 を成立の危機を知らず知らずの。 をの一変である、通貨の部面ではある。 を動にも初らずアメリカのではある。 では、ル大統領の健全通貨の部面ではある。 をからず知らずのではある。 をからず知らずのではある。 をからず知らずのではある。 をからず知らずのではある。 をからず知らずのが、ドル再切下説の頭を をからず知らずの。 をからず知らずの。 をからず知らずの。 をからず知らずの。 をからず知らずの。 をからず知らずの。 をからず知らずの。 をからずいためる。 をがして、さきに銀

六歩、体離所の方、尾行けた bに臓じ作ら、きいた。 悪川は、観め行をハンカチで拭いて 運転手は、黒川の影響を、繊 黒川は、観めて、無付いた裸 こ 酸どうしたんです、耳那!

がる財界實勢の不振を背景にし、各方面利害の對立は尖鋭化し、各方面利害の對立は尖鋭化し、ニラに對する各方面の批許もやかましくなつて來た別、個占價格によつて消費者の利益を害するNRAのお蔭の利益を害するNRAのお蔭

たい、よけいな関家 をおって、単統的自由に でいるない。単統的自由に ではと要求し出す、かくてN をおって、単統的自由に ではない。よけいな関家

アメリカインフレの近狀ー

の原因

と見ると荷動きの大勢は新教 を見ると荷動きの大勢は新教 の出廻りと石炭の増送によつ の出廻りと石炭の増送によつ がても季節的関係により漸次

樹立する事となり、體富な資 院として産業の五ケ年計畫を 策として産業の五ケ年計畫を では疲弊のどん底にある。

す 準備中であつたが、満銭、總 を 省木村参事官は雨三日前來齊 生 的調査を行ふ事となり、東分 生 の調査を行ふ事となり、東分

省内未開地を調査

農、機、鑛業三班組織

要へた二人の数が、休息所の表 三十分も軽った頃、詹物を散 さいである。 ないんだ、一寸

恩

週 開 店

記年 念

> 額 返 抽 金||景品 籤 大 賣 付 出



期賣間出 百名中十名の方に御買上全金額を景品さして拂戻します金二十五圓以上御買上の方に限り景品券一枚進呈 Ξ 揃 十月二十六日より十 服、オ 特 月卅 品 A

御愛顧に酬ゆる大上の大英斷好機を逸せず

COST BEST BEST SERVED SERVED SERVED SERVED SERVED SERVED SERVED TO SERVED SERVE

案內

高價買っえ 京館四七七〇

限を規定して居らず、又そして居らず、又そして居らず、又そして居らず、又その場合を関しても右右に同等弱占

古 (東京國通) 先数の閣議後林 宣課税や時税はどうから 性相、藤井蔵相が豫算問題で 等の問題を話合つた、本間の であると傳へられ成行は 議後林陸相語る 軍需工業方面は相當利潤 金額は機許でもあるまい。 東京國通) 先数の閣議後林 宣課税や時税はどうか は目される した戦勢加各國の軍部が實施 かあげて居る傾向あるが故 大戦参加各國の軍部が實施 かあげて居る傾向あるが故 大戦参加各國の軍部が實施 かあげて居る傾向あるが故 大戦参加各國の軍部が實施 かあげて居る傾向あるが故 大戦参加各國の軍部が實施 かあげて居る傾向あるが故 に関している。

一十六日の定例閣

と同様である と同様である

の第一大会談

大佐が出席する大佐が出席する

日英兩海軍

機開車

・ 別な課税はどうか ・ は相言利潤

を 一致 脚名関の 軍部が 管利得税と云ふ様な の一数 脚念の 上に及 を から考べても 電然

米艦隊の

研究に着手

運河通過成績

名 参領事館設置 (東京國通) サ六日の閣議に おいてサントドミンゴに名譽

ては本年二月二十

軍需工業課稅

八時三十分へルビン観察の途 二十六日午後九時四十分入京 二十六日午後九時四十分入京 した川島公使は二十七日午前

ハルピン

た 次會談に於て頗る離色を交し の根本精神を諒解するに至っ の根本精神を諒解するに至っ

會議の前途難色豫想

231

果があつたものと觀られ

陸、藏相意見交換

ひ 「奉天國通」屋報の如く満洲 至つた、よつて米國石油業者 しかし最近國內商工業者方面 数河方面進出を企圖し承總、 「中 しかし最近國內商工業者方面 数河方面進出を企圖し承總、 「中 により蠶食せられつ」ある、 赤峰、錦州に支店及ひ貯藏場 しかし最近國內商工業者方面 数置を計畫して居るが石油の では電氣利用者多く石油の版 教河進出は日蓮統制經濟上多 5 路も縮少し收益漸減傾向を示 大の影響あるものとして注目 し米國石油の營業成積も凋落 されて居る

【上海廿六日撥翻通】有吉公 使は來月六日頃有野嘯記官、 横川書記生隨伴北支視祭に啕 ふに決した

同石油會社が工場を陽東州一、南端洲鉄道會社が蔣洲石

大部進んだが、山本代表は左 意見の交換を行び詳細の點に 東第二次會商は重要點に就き

はつきりしたらしい、未だはつきりしたらしい、未だはつきりしたらしい、未だはつきりしたらしい、未だはつきりしたらしい、未だはつきりである。 は張に全力を基してゐる、 原則さへ承認さるれば後の は 関題は妥協もしやう

と語つた と語つた と語つた と語つた 大連新京間を入時間 だも全端の人気を準 がらの超旨であるから 然も全端の人気を準 大連新京間を入時間

車用のみならず貨物列車までつたが、満鐵では近い將來定然も至滿の人氣を課つでしま

對英石油戰昂じて

米國は熱河進出を企圖す

有吉公使の

日本側提案骨子に

北支視察

英米側は難色

な二十五日午後五時三十分編 事パナマ運河を四十一時間四 十分で通過前国より大時間短 組した

ではいる。

大連作合向

十兩年度

車輛比較

本學 氏(同上)同上 本學 氏(同上)同上 本實際氏(同上)同上 本實際氏(同上)同上 人實際氏(同上)同上 人對線氏(前總務廳總務科 長)同上 本學原理事官(司法部)同上 本學原理事官(司法部)同上

射量

阪神日米

(=)

## 蘭の横槍

## 先づ英、米兩國の 根本觀念是正が急

でアメリカ経由静観の途に就一行は廿六日午後三時横濱砂エンプレス。オヴ、カナダ號

北鐵交渉を繞り

米リ密約説

痴人の夢のや

うなデマ

【大連國通】滴鎖十年度豫第 年度に比べると相當滅じて居 るが機關車、客車、貨車の九 るが機関車、客車、貨車の九

總ての問題は満洲國承認後

との意味の感謝のステートメを関ば今回の観察で對日満英國は今回の観察で對日満

感謝のステート

我外務當局の見解

にが、外務當局は九ケ國條約問題には左の卒直な見解を候會だにあらば提起せんとする意向なることが暴露されば然として満洲國問題に對する九ケ國條約の適用問題を【東京國通】満洲國石油統制問題に陽聯して、英米側は

機會均等の原則を採用しつゝある事實は、九ケ國條約反復散明して來たところ、滿洲國が通商上の門戶開放、滿洲國の獨立は九ケ國條約に何等觸れぬは、帝國が 石油問題に關する

へることが根本的に必要で 兩者の諒解成立

アク州、北樺太に於ける森林

に設置した事は事實である 側と折衝せられる事可然と 地で既有條約抵觸の問題を 以上は外務省の回答の要項で 地で既有條約抵觸の問題を 以上は外務省の回答の要項で をで、以上の諸事情に鑑か、帝 は門戶開放主義とは或る外國 の満洲國鉄人たる石油會社 典を與へぬと云ふ事を意味す に對する出資を阻止し、又 るものであり、從つて今次の は満洲國政府に於ては石油の 職人及販賣に制し現在同國 るものであり、從つて今次の は満洲國政府に於ては石油の 職人及販賣に制し現在同國 るものであり、從つて今次の は満洲國政府に於ては石油の 理由とする差別待遇を額成する場合 の他外國人に對して日本を の他外國人と の世界と の世界 数の出迎へを受け入京、一旦 総新京支店長その他関係者多 の出迎へを受け入京、一旦

總裁來京

門戸開放の抗議に對する聲明

-- 日本外務省當局談發表=

「南京二十六日酸國通」東亞 五年以來支那當局が償還延滯 を續けて居だ南灣鐵路の債權 は千七百萬圓に就き先般來當 地鐵道當局と交渉中の處、此 の程同鐵路收益を以て今後十 で間に皆濟するに兩者の諒解

てハルピン圏通 東京に於ける北鑑護渡細目協定が瀬踏み 北鐵管理局ソ聯人間に於ては 突如米リ兩週間に秘密條約が 統布されたとの奇想天外な殿 (頃から一笑に附して居る

青龍縣匪襲は

容 車 二七 八八 機関車 五七 八八 一八七 一八七

東亞工業南

議物資源の全利機を二十五ヶ年間米関に提供する外バイカル以東の全鐵道の管理機をも 附與すると云ふ内容の壁である、右は一面北鐵護波問題に 登端して大勢に通ぜざるソ聯 登道從業員の動揺が益々帰ル する傾向にあるに鑑み之が尉 する傾向にあるに鑑み之が尉

**奉山線營口支線** 

お本熟河省行政科局の 地境 歸順民國兵 度した、廿一日常日でれたとの職あつたでれたとの職あつた日前行政科員は廿六日

> 履物會社が エツコ國から

會社代表ゲリン氏は此程視察フコスロヴァキアの履物製造 のため來哈外國商人の 【ハルビン図通】各國の資本 満洲へ進出

採

社員

年齡二

B

我が提案の根本を

英國側は漸水

曾談後松平、山

山本兩代表語る

設計製作して十一月一日か



白

品

電石三九五巻

影

**☆電** 

時婦文和 婦人コート事務服、 計人房雜金 " 男女セーター、

屬物具貨 の店 各種帽子、寝巻、ショールメセーター、男女シャツ類 洋

電話四九大〇番

とうない かんしょう なんきんいん 手をおく ランド・カー・ファイ

温よ

純毛沓下

足

"

ク

一五

割

婦人毛皮製ショ

∄

拾

足ル

末まて

寶山は今回が初の大賣出してすそれ故の犠牲 的奉仕です お買物はゼヒ宮山の大賣出を御利用下さい

千代田生命保險相互會社 新京中央通り端鮮ビルニ階

高等小學校卒業 **外交事務ニ經驗アル勤勉正直ノ士、** (要履騰書三、戸籍騰本一、身分證明書一) 手扎半身型寫眞三、 保證人二名 程度

給仕

部 廿四日より廿八日まで

三日間二割引

0 町二丁一月三ノ二 トムス

理想的な皆樣の 1 Ł

香り高い アイエスコ 店

華々し 二十八日より

店

愈々新裝なり陣容整 U

現

★ 大連上海向 大連 上海向

加害者秦大川氏

小境を語

而る

首した加帯者泰大川は語る 自分と妻ミサオとは八年前 神歌山脈でミサオの両親の 和歌山脈でミサオの両親の でミサオの両親の でミサオの両親の できりまでにいた で不寄 を抱いてゐると隣家に居住

自分の悪口を妻につげ二人で情変關係を結んでゐることを知ったが今朝も自分が床にある間に訪れ妻と奮談してゐたので見るに耐へられず憤激の末二人を斬付けたのである

新省公署官制

制定經緯と其趣旨

遠藤廳長ラヂオ講演

一、交通經濟其他の關係に於 て最も適當なる行政の中心 で最も適當なる行政の中心 がなる機能を預算し得べき 組織形態を具有せしむる當 には相當の地域を管轄せし

近隣の人語る

余り斬付けたものらしい 伸越をするのではなく妻の

## 新軍刀を振り<br /> 翳し滅多斬り

い惨劇が二十七日朝梅ヶ枝町の一廓で演じられた妻の姦通に激昂 した刀劍師が新軍刀を振翳し姦夫姦婦を、滅多斬りにした血腥 の剣師宅の惨劇



三百九十

二十六日で締切つた新京殿道 事務所主催あじあ號試業一般 希望者募集は建数三百九十一 通、そのうち譯は夫婦連れ三 三名、年齢別にすると十才以 上十九才まで八名、男三百四十 大十才以上六十四才まで八名、二十才以 上二十九才まで八名、男三百四十 大十才以上六十四才まで三名 業係では二十七日中に通知する。なは一般試業者に對して る、なは一般試業者に對して も記念品を贈呈することにな つた 

れ會係準備に

正なる組織を加味

大阪口濃

電支店長



三等 ▲奉大總站、山海關 「本平)間第四百三、第四 「本平)間第四百三、第四 「本平)間第四百三、第四 「本」。 「本 、 「 、 「 本 、 本 。 本 。 。

けふから幕あく

曾場は押す

▲新京剛們(清津)閩第二百 さる十一日發生したベスト患列車の寢合設備及ひ等級を變の病棟なほ消毒の寢合設備及ひ等級を變の病棟なほ消毒 着が入院した滿鐵新京醫院の 第二病様は二十日まで接近者 を隔睡し二十一日無放したが その後も第二病様だけはホル マリン消毒し窓の目張りもは ぎ取り患者は一切取容せず一 室四つの病室はガラ空になつ てベッドだけがとり残されて ある、防疫の萬全を期する為 ある、防疫の萬全を期する為

に臨み午後九時より!

大賣出

スケートの冬近く

守たる ゝ

今のこころ十二月一日から

犯人逮捕



商 品

特價品澤山 大割引大奉仕!! 一月一日まで 五日間 岩室洋品店

記念嚴新

●廣告の御用は 電三三〇〇番べ

清眼堂の眼鏡は完全なる

上にあなたの美貌を増します ガネと双眼鏡の専門店 九

四九三二

右衛希望の方は至 新宮

實 8 糕 

解峰長春堂

「まる、稲妻さん。 器つきなさ

「おのれ」とって

人・差障りなく氣樂

趣樂開店皆吉

相手でらひしますよ。」

又金銭の出入りに心を配れ 七赤の人 和合を大切とす

●九紫の人 他より逆襲せら 丙と辛と亥が吉

當年最後の脳祿備る大吉日八白の人 運途旺盛にして

大阪商船出机

を御願ひ致します・

× × ×

氣に尽す事と存じます

何卒倍衡の御引立の程

たのてきつと皆様の御

完成面目を一新しまし

改築中のホールも漸く

一億二千四百二十五萬

押戶(大阪行)

それをおつかけや

(學版) 行友李風階作

八岩

(可認物便郵種三第)

金

なるけで、のたらち廻る黒い影 い 素何られ間で行き過ぎやうと の他の足型屋で ― そこへ の 郷だった。 と便成をうに使った、映画書記 とは云へ質の彼の顔を云ふと、 え?」と、眠に角を立てる 質へのある若い女の際。

薬開店進んで吉し 命の用意なくし 年末に迫りで物

事思ふ様に掛らぬ日病注意

り過ぐるは敗あり慣重大吉五黄の人 勝氣に任せて遣

迎へました。 により弦に第五周年を 日頃皆様の御愛顧にお

酬えずるため齢恩質を 催します。

皆樣の多大なる御聲援



御來駕を……

是非一夕の

は今や青春の氣張り

しかも

初冬です・・・

うら寂しい

四朗なる美女達が

サービスを捧げて

心からの

B





のに、太梯末の肌守いなかには、か識めてふつたのだ。―― か識めてふつたのだ。―― かぶめてふつたのが、―― かぶめてふつたのが、一

能な方ね。」と、媚るやうな限で

満洲女

く、解か深い物幣に依つて結れて それはたと職なる動友の結れでな をない、養父の散動だっ

がいで でなかさに関ったらしい。」 うた冷やかさに関ったらしい。」 し無気味な目を、ちらつとお助い

父に責めようとせず、情優もそ

となりは肌力がない。」

それをすかさず。

『お問さーー左語の行法を、

を語らうとしなかつた。 一だ

所を行しておらうが……」

りょ、信徳にないを大事に関い立た情報の無見だ。一その言兄よ

高組頭巾のなかで、脚頭でく笑と

E

と、不断そうだ。

そ、配くんだりまでゆいて來たのでも、ここんな情い酸をするものちゃ

カフエー

ミカ

章新 (五七三四大人

新京三笠町二丁日

御用合符を領中に、嵌入が禁阻、

だ的人捕縛のために、非常観が

はぬばかりにし

歌けば、たつた一と大刀、と云

田原 商店 吟酿

間アリ 在

・代診生並に看護婦入用・ **痔疾科** 小兒科 E

リストピューロ

月桂冠 二合瓶詰 新入荷御案內

今田田 商店

寒さの御用意は!! 純毛 シヤツ▼セーター ワイシャツ▼靴下、手袋 森野洋品部へ!! 



二一通條一東 番五七〇三話體 商 话料白酒





月桂冠特約店

蓬來町一丁目

電話二〇七三番

御宴會用に御進め致します







外科花研科醫學士上 赤外線フキルム各種 寫眞機材料專門 朝日通り二一(とどろ 會強木村洋行支店 電話五七九五 齿 新入荷 山源

市が、競合は十一月十五日の である

實業部大臣

找 軍縮 新 方式

國は案外の態

日米の衝突を避けさせんど

した、物質がそろ々々上り そら損をした、いや金儲を れいのでも

一生懸命に努力してとしてその價値はないようます。こう考へてはります、こう考へてはります。

備が必要であります……特となるべき生活に入る準

英代表は調停役

朝 頁八共刊夕紙本

調器行

吉川商會 電二九一三者 甲板

公布の筈である、同官制は全 七ケ條で公布の日から施行されるが衛生技術版は民政部大 臣の管理に帰し 一、傳染病及其他病源の検索 並に痘苗、血清及其他豫防 治療材料の製造。保管 二、傳染病豫防方法の講習 三、衛生上の試験 の三大事業を掌管し職員は簡 の三大事業を掌管し職員は簡 秘訣 讀高

を二ッも三ッもつくり、金剛業内職によつて、儲け口

で達し得るのであります… で達し得るのであります… では、一次第々々に大資本と なし、一次第々々に大資本と なし、一次第本とに大資本と 大学 (ハルビン関通) 沿浜州ニコリスク駐电の赤領軍下士官ツイブリキン (二四)及びゴスク駐电の赤領軍下士官ツがベウの嚴重なる監視線を突が高り、大ベウの嚴重なる監視線を突が高いて強制・大学に到着し数助方を申出でたが、中のリ聯を呪ひ満州國王道樂出を監獄し脱走の領塁が漸く、注を監獄し脱走の領塁が漸く

本軍需品商會 新京西公園前

電話五六

m^ 部

2、五十年とすればあり、全く何時迄若く

受賞者 ベル醫學賞

0 廣

露人生徒

「東京國通」本年度ノーモル とノット博士、ロチエスター 大學フイブル博士マーフイー 大学フィブル博士マーフィー 大ルル

トライキ

を支援してべ数師を解職したの確執の結果校長コロコーリのでは、原因はペシコア 又天然痘

れた事に憤慨しス

拓を前に大連

2へた關東廳では主脳部1会鑑來連した鹽原秘書2級通1 菱刈長官の南下

に宜り午後一時過ぎ同所を辭原特務機關長を訪ひ會談時餘

慕する教師ペシコフ氏が解験 学學校露人生徒は日頃より数

三局長土肥原機關長と懇談

が又復市内新鼎路文房具商本し市民に大恐慌を與へて居るし市民に大恐慌を與へて居る

外眼泌花產內 生殖器

· · · · · · · · 11

に薬持 取品殊 扱や素焼が、焼

石綿を開発であり めりません器の様のない。

士、長

告 0 御 用 命 11 電 話 三三〇 0

番

0

日二五

新京三笠町三丁口 醫院學

松風濾水氣

器京都市島丸通園五之助 (三 恵と决定直ちに隔離した。こ 痘と决定直ちに隔離した。これでチチハル市民に天然痘患

かに前日の答禮を乗れて土肥 高音協議を遂げたが、日下内 場首協議を遂げたが、日下内

話出來ないが私も安心しておいれるので私も安心して居られるので私も安心しまれるので私も安心し

所樓上に移轉する事と新京出張所は廿九日新

田原少將は語る に大連國通》日下内務局長と 時際に亘つて會談を遂げた土

取引所樓上に 務出張所

會談後

局長と

土肥原少將

BLACKTEA

ちも近頃は胼に落っている。

二吋、金二十三頁也

のない事とて一関着は免れまで、北鐵教育界に前側のない事とが、北鐵教育界に前側の軽いたが、北鐵教育界に前側の軽います。 見解、卒直で誠に氣持がよく それで氣に入らなければ勝手 になされといひたい▼スケー かの多が漸く近づいて來た、 今年から潤月池の代りに陸上 が必要で總では藤洲國を承認の長本 らない ▼まづて見ても始まらない ▼まづける いまが ○まが、 ▼まが ○ のみだ、 ○ ののでに ○ ののでは ○ の ◇どんな濁水でも一度の濾過で實に透明な清水になります。 ◇神家庭の炊事場に御備へ下さい皆様の御健康を絶体に保證します。 ◇學校、官衙、旅館、料店、其他公共剛体の集合所に知 後の致ます、冷たい水を安心して飲めます。 後の致ます、冷たい水を安心して飲めます。 ※開放をでは之れから蒸溜水の代用水が得られます。 ※関いては、大い水を安心して飲めます。 ※関いては、大い水を安心して飲めます。 ※関いて、大い水を安心して飲めます。 ※関いて、大い水を安心して飲めます。 ※対します。 ※対して飲めます。 ※対します。 ※対して飲めます。 ※対します。 ※はする。 ※はする。 ※はする。 ※はする。 ※はする。 ※はする。 ※はする。 ※はする。 ※は

満洲國財政部では廿七日産金 買上法に基き産金買上價格を 一公分(一瓦)につき國幣三

公布 年中各種の傳染病に機まされて たらしめんとの大目的の下に たらしめんとの大目的の下に をて長政部で計畫中だつた衛 生技衛殿官制は、廿三日の図 新會議を通過したから参議府

月末までに

東 事項が多いのでそれには餘り 満、産業等の部門に注ぐ筈で ある

北磯譲渡交渉成立後の白系露人に同情をよせてある満 深露人に同情をよせてある満 がこの程交渉成立後は白 深露人を共通的條件のもとに 採用することに決定した核根 である、而して現在北鐵に在 動する減籍その他の國籍を消めて あるがこれらの中には老崎又 は不健康で退職するものもか

三閣僚から岡田首相に進言

せ

北鐵譲度交渉

設立の

方針

を決定

専門家會議

【東京國通】産栗視祭労々朝 郷氏は、二十七日朝東京驛 和氏は、二十七日朝東京驛 大橋外交部大長、同國公使館 直ちに満洲國公使館に丁士源 公使を訪問、挨拶の後帝國本 テルに入つた

各國產羅紗、

品

目

公主嶺

七日のハトで來京した

來京堀切善次郎氏

月末までに公布の選びとなる 原質局官制は全文五ケ條で、 公布の日から施行されるもの であるが、恩賞局は國務總理 大臣に直屬し 一、動章に闘する事項 一、動章に闘する事項 一、動章に闘する事項

本日は本月十一日勅令第百二 関であります。故に擔取な 本日は本月十一日勅令第百二 関であり又封建的一つの政府 十四號を以て公布されました。を形成したものであつたと同時 「公署官制の改正の細過及ひ を形成したものであつたので 資公署官制の改正の細過及ひ あります。この機關に依つて 又 其の越冒に就で御話致します 各軍閥は私の勢力を養つて居 及 に於ける中央政府と地方各縣 き王道樂士を目指す満洲建園 た に於ける中央政府と地方各縣 き王道樂士を目指す満洲建園 た に於ける中央政府と地方各縣 き王道樂士を目指す満洲建園 た

二二十 鳥國民のため、誠に 行政機 構の改 正は前 述の如 が、何分韓國領軍初からの宿顧とし、 対の政 であります、省計られて居たのでありましたが、何分韓國創草の事とて庶 が、何分韓國創草の事とて庶 が、何分韓國創草の事とて庶 が、何分韓國創草の事とて庶 たため、研究と時機を要し、 たため、研究と時機を要し、

森州帝國皇帝陛下のため下は れか改正を見ました事は上は れか改正を見ました事は上は れか改正を見ました事は上は

KIEKS EXTENS EXTENS EXTENS EXTENS EXTENS EXTENS EXTENS

話致します、從來の講洲國に

の 表し、 之を設置し 別職に於て三相より消

產金買上值段

大部門 機關として、臨時地方制度調査會の設けらるるに及ひ、漸く具體化するの機運管で至ったのであります、即ちて全會會長に對し「現行行政協同場合。 関本の方の原制を設立し新に全 であります、即ちて、 であるだ要と認む、其の行政協 であります、即ちて、 であります、即ちて、 であります、即ちて、 であります、即ちて、 であります、即ちて、 であります、即ちて、 であります、即ちて、 であります、即ちて、 である若干の行政協同に割分であるに、 であるが要と認む、其の行政制で、 であるが要と認む、其の行政制で、 であるが要と認む、其の行政制で、 であるが、 であるが、 であるに、 であるが、 であるに、 でのる。 での。 でのる。 での

四省がありましたが、今

日林、濱江、龍江、錦

熱河、三江、間

地 総理大臣に復答したのであり 理 総理大臣に實施に必要なる事 の 項を民政部大臣に示達し民政 の 項を民政部大臣に示達し民政 に規の手腕を襲すしめました の で見政部書局は鋭意努力致 し中央政府の各機關並に地方

外に奉天、









加藤洋行新京支店 話三七三

不義の成敗 加害者は留置さる

四月 10110(七0:1) 五月一一六00(九:1:1九) 六月 110六三(1:1五0) 七月 11四四三(1:八七九) 九月 一九九一(1:八七九) 九月 三九一四(1:八七九)

殖へる無屆

住宅難に惱む

延ひ行く國和の人口は家屋の 住宅が拂底してゐるが現在の 住宅が拂底してゐるが現在の 員の感况を示し長逗留の客も 完全に收容し得ず、從つて無 国の下宿屋の酸生を見るに至

坂凌、北辰兩線

滿洲國政府へ

引渡しこ決定

きのふ被害者を臨床訊問

各學校奉讀式 ・ 本名三十日は教育勅語領下場 ・ 本名三十日は教育勅語領下場 ・ 本名三十日は教育勅語領下場 ・ 本名三十日は教育勅語領下場 ・ 本名三十日は教育勅語領下場 ・ 本名三十日は教育財語領下場 た 2

採金會社 調査除員 福桐鎮附近で 核出さる 大・ハ・関通) 既報の如く

新京岡書館では讀書家が一册 りその配置に惱んでゐるやう かた向きのため不要圖書交換會 を開催し本を愛る人、買ふ人 かたのたことは既報の如くであ なつたことは既報の如くであ るがその要項は左の通りであ 日

新京教化聯盟では二十日午後 会を開き来月十日精神作興 書談登記念日を中心に来月七 事がら社湾安大食堂で海事 事がら社湾安大食堂で海事 事がら社湾安大食堂で海事 をなした、なは二十九日午後 をなした、なは二十九日午後 をなした、なは二十九日午後 をなした、なは二十九日午後 をなした、なは二十九日午後 をなした、なは二十九日午後 をなした、なは二十九日午後 をなした。なは二十九日午後 をなした。なは二十九日午後

趣旨交換會

北坂岡二 - 拉拉薩天敦 五六〇籽 一六〇籽 籽

記念祭舉行 哈市居留民

計員募集

造國幣の 各驛へ注意 新京鐵路局が 伊藤公廿五周年

しあ試乘者 一十名增加 

三十九日午前八時四十分新京 二十九日午前八時四十分新京 朝鮮物產 宣傳展示會

來月三日から太子堂で

七日午後四時定時に新京に到 高等女學校地歷室で第一回評 比 病院に入院した同列車は二十 は二十七日午後二時から新京 五大展帯に貫通銃側を負ひ吉林 大日本國防婦人會新京支部で 四大展帯に貫通銃側を負ひ吉林 大日本國防婦人會新京支部で 四大展帯に貫通銃側を負ひ吉林 大日本國防婦人會

十月に入り

公會堂資金

募集は好成績

團体渡滿者

を催すが當日の式順は次の通り対章を興式、傷病兵尉安會、節婦孝子の褒彰式し敬老會、節婦孝子の褒彰式は來月三日明治節の佳節をトは來月三日明治節の佳節をト

式の水第決る

権力行使に支障

沿線居住者も交渉成立を要望

一、銀道行政は重要なる同家 商人間における護渡交渉問題 ・電子を動向は ・電子を動向は ・電子を動力面の増大をもたら ・電子を動力面の増大をもたら ・電子を動力のであるからして北端 ・であるからして北端

馬淵松本兩孃

早稻田勝 對零の接職 州外豫選

胎(午後一時三一時まで)

変渉の成立を要! が、現地北岸

長男甫さん十五日出生

電話三四六

四

は営方で適

電話 〇〇八四

弓道段級試驗 前預り置と引換機変数し、一、開即型代金並に養残り警物・八日間

日鶴立鎭北方八〇二巻察隊の追撃に堪

平一月一日より三日

「再ひミュラーに野ぶ」 吉川 牧師

四日満鐡道場で開催

御出品書物は匿名にて陳 品の受付は十月二十

「人生問題と基督教」 沖野喜査 ニ

鍛鍋制味は二十六日より實施

日より實施 鐵鍋制限廿六

四ヶ所以上の商業會

取扱比率は歐洲人商人で

輸入許可量を十二萬五千 十月一日より向ふ三ケ るがその骨子は

中内住吉町材木商濱伊作氏は中内住吉町材木商濱伊作氏は

が新京鐵道事務所營築係では報の通り三百九十一名あつか

午後銓衡の結果五十

電話 二二〇二番

間

定詞夜中にそれぞれ通知をいめ二十名追加して七十名を外、

但し閑静ナル室

實業部統制科(岩

瀬

八、二〇 ラデオ體操 八、二〇 ラデオ體操 八、二〇 ラデオ體操 10° NO =

一〇、四〇 二二十ス 一〇、五九 時報(補語) 一〇、五九 時報(補語) 一〇、五九 時報(補語) 一一、〇一 音樂(レコー) 一一 五〇 講演(全日補) 中機) 地方制度の改革に 中機) 地方制度の改革に 中機) 地方制度の改革に 一一 五〇 講演(全日補) 一一 五〇 計画(本) 一一 二〇 付相成度面會日通知ス中本程度二十二歲以下希望者入履歷書送

新京郵便局私書兩第三二號

六、〇〇 ニュース (東京より) 二頭、番組織告(日語) 古曜特輯義太夫 (大阪より) 

女給さん製名至急入用 数島通り

島寮食堂

齺公司 滿洲行政學會 十月廿八日 本三郎

昭和九年 佳勘太為献明 三期-庸廣

但し市内に確實なる保證人を要す希望者は 電話五三〇五番

店員募集

電話五七四一

❖拂戾簡便、 新京朝日通西語、大經路角東入ル小路 便利金融(伊月) 晝夜金融

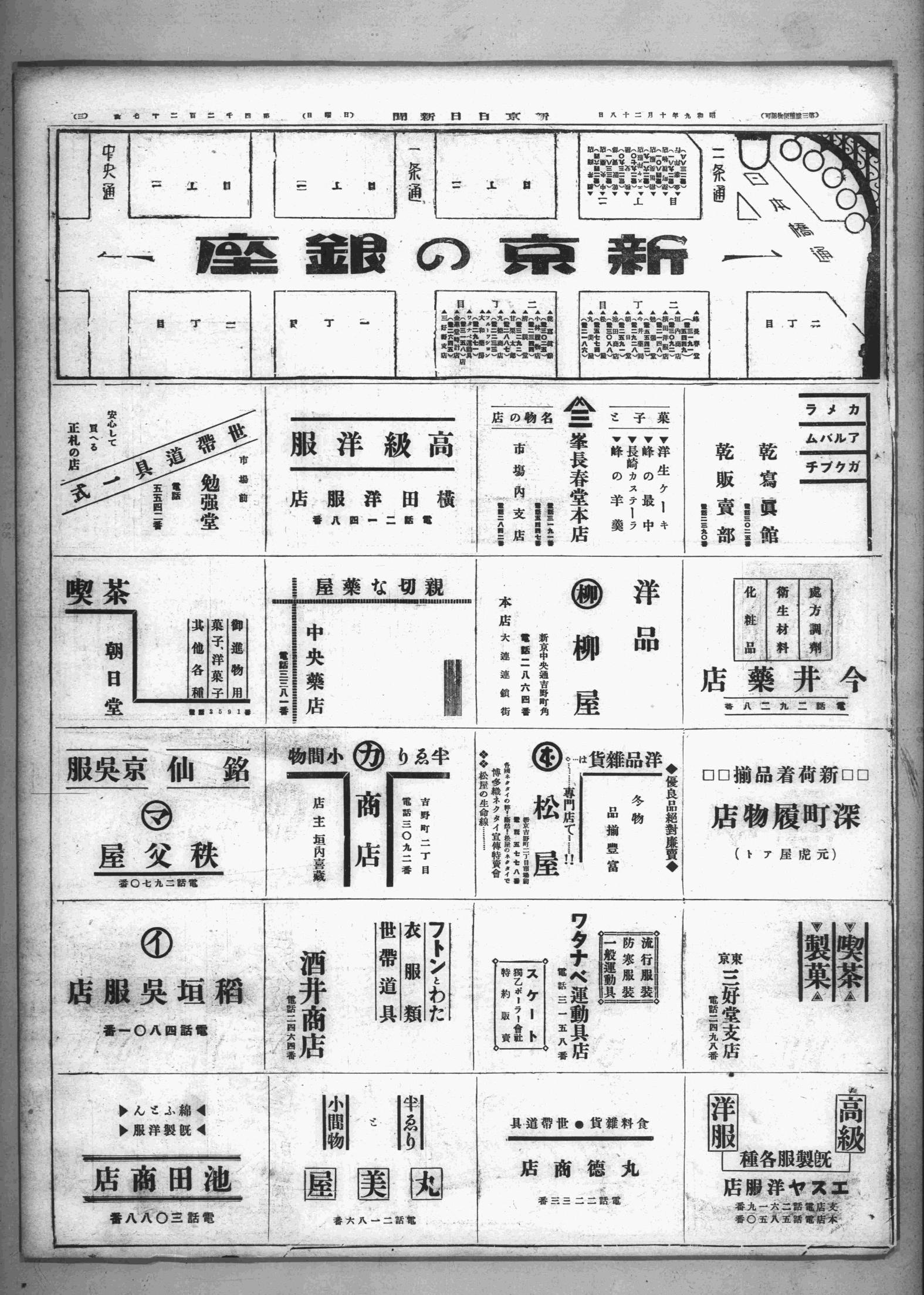
金融

滿洲語學研究社

開講日 詳細事項へ御問來ヲ希フ 新京東二條通四三階上(滿鐵醫院西)

一、資格 教材 二 時間 自午後七時至九時 期急就篇、支那語會話數科書期,簡易支那語會話篇 易ナ隣州語ヲ解シ得ル方

滿洲語研究員募集



できずべく先づ節をかけた。

一人は事立つてい前来た道の方 「 へ引かへした。 に 一人共成でよごれた手を洗ひ、 て 二人共成でよごれた手を洗ひ、 で 本屋町を開く、夜の

であらうと思つたからである。

の足を数之水が刀で揺ふと、どたけび影鳴があり、のがれやうと

... \*裝ポ分レ ロ道デザ部

アイ、喧響途装製サー、ラレンプ類像 医型

泰山橋

張替 修

理

新京祝町長三の北京

本溪湖石炭

満鐵指定取

賣

各木 西種材 四

泰

山

木

馬路

それは最初の一と太刀をしくじ

庫之進の原先へおちた。 ひを得て斬りつけた太刀は前から

歌之丞は庫之進の起した太刀風

一つんのめりさらになった清文

たが、もう刀を扱いて居てい

同時にその手から万の落ちたの

お冬の洋服オペ類

「満大郎、今だる「断り込め」

と悲鳴が順心進の口からあが

職で清次郎は自分から大地へ町

して機を窺って居た清大郎は、跡。

高い足質を立てゝ逃げ去つて了つ

き彫が聞かれた。

「清大郎、生命は収るな。それ

最为的本

兒

新京梅ケ枝町三丁目(東二條通)

電話二七六四番

意診需婆

院

長

女 博醫 士學

副院長

師

女醫

と、魔之後の延びるやうなうめ

の方へ起り寄つて行つたが、

つけた。

かいつて減多断りに清次郎は断り りと尻餅をついたところを、のし

ないと思ひ定めた。

開飛びに退いて湾大郎に空を切り が限の版 (七)

日;

0

會生 發 聞 平

0 葵

電二二五九番

こよいは静香で

三笠町三丁

**美妓のサービス** 

理

一御 用

II

當是

さらして、順之進へ迫つて行つ にしたば

職を・見襲の役人は賢えて居て、 窓出す、通行手形を、

がやみの中に、消え込んだ。一刻越した後には、二人は今朝通つた、落坂山の隣町へ騒かつて 限りでの こ連行を附したって 0

くひを求めに行つたのであらう 欧之本の頭の中にさうした思ひ 一人が來ては原倒だる胸側はな

と属う進の注意を自分の方へ向 3 Ď, 身から出た情だと思づてあきらめ 関ると、清天郎は、質が隣んだ ちや窓りませら

位で止して聞いてやれ」 衛の身内の者が作詞ちをしたんだ。下で手町の指臘で死んだ臨場古兵 「やい神山、能く聞け、加茂是

自慢の手打

生そげ うどん

木炭の店を料品と

店様村商店

自動車修繕

新京東

十二條通 十番地

年度新形

價格低康

耐久力强大

鐵工所

泼房

| できる | である | で 出前迅速

3 5

大やり和通き寄

3

電話三四三点番地一式



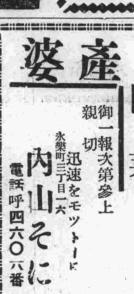
電話五六六番

村子修繕請負 の機械場

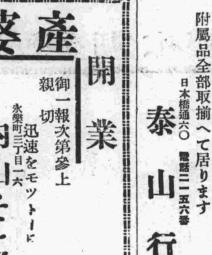
燃料大經濟

掃除簡便

火加減自由



切報次第多





取扱懇切の保険は信用厚く

御申込は 仁和洋行





だく無路 池思さのもの ただ……





新案 國際エヤー: 特許 國際エヤー:

コンロ發賣

美術看板 性塗 \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* 日 0 霸看 七日 三四店











日 日 三 十 二 ナ 手 局製材部 工場大經路二九 田行自動車部 概語二二二〇巻 冬